

答 辞

日増しに暖かくなり、柔らかな春の陽射しを感じるこの季節に、私たちは本学を卒業する日を迎えました。

本日は、このような盛大な卒業式を挙げて頂き、誠にありがとうございます。ご臨席を賜りました学長先生、諸先生方、ならびにご来賓の皆様、卒業生一同を代表し厚く御礼申し上げます。

振り返れば、ちょうど四年前のこの場所で入学式を迎え、これから始まる大学生活に期待と不安を抱いていたことが、つい最近のように懐かしく感じられます。はじめは高校までとは違う、専門的な講義内容に驚きや戸惑いを感じ、講義についていくのもやっとのことでした。しかし、時間が経つにつれて、とても興味深くやりがいのあるものと変わり、多くの講義や実験を通して専門的な知識を吸収することができました。

また、卒業研究では自分自身の力で問題点を見つけ出し、それを解決するという過程を繰り返すことで、より深い専門的な知識だけでなく、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などを身につけることができ、自分自身の将来への糧となったと思います。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から一年が経過しました。現在、東北地方をはじめ日本中が復興への歩みを進めています。大学で学んだ専門的な知識や技術、困難な問題に立ち向かう姿勢を持って、微力ながらも復興へ貢献できるよう日々、邁進していく決意です。

最後になりましたが、今日まで熱心にご指導して下さいました先生方、大学での生活を支えて下さった職員の方々に心からお礼申し上げます。また、様々な場面で私を支えて下さった先輩、友人、そして両親に深く感謝いたします。

終わりに、東京農工大学のさらなる発展を祈願し、答辞とさせていただきます。

平成二十四年三月二十七日

卒業生代表

工学部 情報工学科四年

野口 玲